

「仙台市立病院経営計画（令和7年度～令和9年度）」（案）に係る仙台市立病院経営評価委員会からのご意見について

NO.	ページ		ご意見	対応内容
1	13 42	収益的収支	<p>P42の「収益的収支」においては「資本金」が記載され、P13においては「累積欠損金」が記載されている理由</p> <p>P13の「累積欠損金」の「目標値」と「実績値」が相当に乖離している理由は</p>	<p>前経営計画（P13）の収支計画は経営評価委員会の資料と同様の区分に設定していましたが、経営計画（P42）の収支計画は仙台市立病院経営強化プランと同様の区分に設定を変更いたしました。これは、経営計画を直近の外部に公表している収支計画（仙台市立病院経営強化プラン）と比較検討可能にするためです。</p> <p>また、累積欠損金の目標値と実績値の乖離は、令和2年度～令和5年度にかけて新型コロナウイルスに関連する補助金（以下、「コロナ補助金」）が交付されたことにより収支が改善し、累積欠損金の増加が抑制されたためです。</p> <p>（参考）コロナ補助金交付額 R2 1,766,293千円 R3 3,689,079千円 R4 2,039,039千円 R5 350,432千円</p> <p>なお、前経営計画の経営上の目標（P14）は前経営計画策定時点での向こう3カ年度の目標値を定めたものであり、当初予算額ではありません。当初予算額と実績値を比較した場合は、乖離は小さくなります。</p>
2	14	経営上の指標	<p>「経営上の指標」の現金預金残高の目標値と実績値が相当に乖離していますが、その理由は</p> <p>また、資本金+累積欠損金の数値も同様ですがその理由は</p>	<p>現金預金残高の目標値と実績値が乖離している主な理由は、コロナ補助金が交付されたことにより、現金預金が大幅に増えたためです。</p> <p>また、資本金+累積欠損金につきましてもコロナ補助金の交付により、収支が改善したことによるものです。</p>
3	14		<p>この累積欠損金に関連して東洋経済2/8号に「赤字の自治体病院累積欠損金ワースト150 欠損金ランキング」が掲載されておりまして、仙台市立病院が第70位にランクインされておりました。</p> <p>資本金+累積欠損金は2024年度において7,924,250千円になるのですから財務安定性には問題がないのですが、地方公営企業法の改正により減資が可能になっています。</p> <p>このままだと資本金が増加し、累積欠損金も増加してしまいます。</p> <p>適正資本金の見直しと減資による累積欠損金の解消を検討しては如何でしょうか。</p>	<p>減資により、解消すべき累積欠損金が明確になり、財務状況が分かり易くなります。一方で当院の資本金は病院設立時の固有資本金と一般会計からの出資金の合計であり、仮に減資を実施した場合、どの程度一般会計から出資を受けているか分からなくなるという面もあります。減資を実施するかどうかについては引き続き他病院の実施状況等の情報を収集して参ります。</p>